

令和7年度

修士論文題目一覧

フェルッチョ・ブゾーニ作曲 オペラ《アルレッキーノ》(1916)における、
「新たなコンメーディア・デッラルテ」の構想について
—アルレッキーノの人物像の形成をめぐって—

1960、1970年代における国立劇場委嘱作品の位置づけ
—武満徹《雅楽「秋庭歌」》(1973)再考—

1920年代の自動演奏楽器をめぐる議論と創作
—パウル・ヒンデミット作曲《自動演奏楽器のための音楽》Op.40-1を中心に—

フェルッチョ・ブゾーニの「若き古典性 Junge Klassizität」の実践
—《トッカータ》Kind.287の分析を通して—

G.ヴェルディ歌劇《シチリアの晩鐘》における言葉と旋律の乖離について
—5幕アリア(ありがとう、友よ)の伊語翻訳に焦点を当てて—

社会や人の関わりを「媒介する音楽」
—高齢者を対象とした集団的な音楽活動の場でのフィールドワークを通して—

修士演奏曲目一覧

[声楽]

Georg Friedrich Händel

ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル

‘Tornami a vagheggiar’ dall’opera *Alcina*

歌劇『アルチーナ』より

「また私を喜ばせに来て」

Georges Bizet

ジョルジュ・ビゼー

20 *Mélodies* op. 21

1. Chanson d’avril

17. Chant d’amour!

「20の歌」作品21

1. 四月の歌

17. 愛の歌

Ernest Chausson

エルネスト・ショーソン

7 *Mélodies* op. 2

3. Les papillons

7. Le colibri

「7つの歌」作品2

3. 蝶々

7. 蜂雀

Claude Debussy

クロード・ドビュッシー

Pierrot

ピエロ

Clair de lune (1882)

月の光

La romance d’Ariel

アリエルのロマンス

Charles François Gounod

シャルル・フランソワ・グノー

‘Je veux vivre’ de l’opéra *Roméo et Juliette*

歌劇『ロメオとジュリエット』より

「私は夢に生きたい」

[声楽]

Richard Strauss

リヒャルト・シュトラウス

Vier Lieder op. 27

2. Cäcilie

「4つの歌曲」作品27

2. ツェツィーリエに

Acht Gedichte aus "Letzte Blätter" op. 10

2. Nichts!

『最後の葉』からの8つの詩」作品10

2. 何もない

Vier Lieder op. 36

1. Das Rosenband

「4つの歌曲」作品36

1. 薔薇色のリボン

Fünf Lieder op. 48

3. Kling!

「5つの歌曲」作品48

3. 響け!

Михаил Глинка

ミハイル・グリンカ

10. Жаворонок

из *Прощание с Петербургом*

「ペテルスブルクよさようなら」

10. ひばり

Сергей Рахманинов

セルゲイ・ラフマニノフ

4. Не пой, красавица, при мне'

из *Шесть романсов* op. 4

「6つのロマンス」作品4

4. 歌うな美しい人よ

5. Сон

из *Шесть романсов* op. 8

「6つのロマンス」作品8

5. 夢

11. Весенние воды

из *Двенадцать романсов* op. 14

「12のロマンス」作品14

11. 春の流れ

Ermanno Wolf-Ferrari

エルマンノ・ヴォルフ＝フェラーリ

Canzoniere Italiano op. 17

14. Come tu mi fai rabbia quando passi

25. Io mi credeva che tu fossi morto

「イタリア詩集作品」

14. あなたが通るとなんと腹が立つことか

25. あなたは死んだと思っていた

Quattro rispetti op. 11

4. O sì che non sapevo sospirare

「4つのリスペット」作品 11

4. これほどため息するなんて知らなかった

Giuseppe Verdi

ジュゼッペ・ヴェルディ

‘È strano!...～Ah, fors'è lui～Sempre libera’

dall'opera *La traviata*

歌劇『椿姫』より

「不思議だわ！～ああ、そはかの人か～花から花へ」